

自：平成20年4月 1日

至：平成21年3月31日

20年度は、前年に増して河川清掃の一般市民と企業参加者が大幅に増加し、河川環境保全に大きな効果を果たしました。ホタル事業においては、身近な水辺のホタル再生を目指した「蕃山ホタルの里づくり」並びに旧笹川「大野田ホタルの里づくり」における活動が軌道に乗り、それぞれ主体の活動として地域市民協働の体制ができました。特に、「蕃山ホタルの里」(※1)では土地所有者の企業貢献により、自然再生を果たした蕃山を会場として前年から近隣の広瀬小学校の環境学習が行われ、また日常においても一般市民に広く利用されました。「大野田ホタルの里づくり」では、毎年定期的に4月29日を旧笹川の清掃日とし、大野田小、町内会、国交省仙台河川国道事務所、県土木事務所、太白区役所、本会による「大野田ホタルの里づくり推進協議会」構成員の支援によって実施しました。

ホタル観察会はいずれも地域の恒例行事として定着し、年々遠来からも家族連れで大勢ホタルを見に来る光景が見られるようになりました。他の関係支援として、かつて(故)松野昭夫会員が以前情熱を込めて取り組んだ「白石薬師堂ホタル観察会」の6回目が開催され、ホタルが水辺に群舞し、地域住民手作りの和紙灯ろうや七夕飾りとともに参加者が幻想的な一夜に酔いしれていたのが印象的でした。

また、国交省仙台河川国道事務所が本年度3月整備を完了した広瀬川八本松の水辺のユニバーサルデザイン(車椅子利用可)「じゃぶじゃぶ池」を会場に、広瀬川親子体験イベント第9回「政宗さんの川狩り」開催は、増水のため中止しましたが、次年度に予定します。

一方、不法投棄、ポイ捨てが一向に改善されないことから、管理者側のゴミ捨て防護ネット、柵設置、監視カメラ設置とともに、市民協働の日常的な防止対策が必要であり、より一層の関係機関及び関係地域団体の協議が求められます。

まとめとして、名取川水系河川整備計画は、仙台の象徴である広瀬川をはじめ水系一環における向後の河川政策としてその具体実施が求められ、治水、利水、環境のバランスの取れた健全な川づくりが果たさなければなりません。今後も、本会は公益的な市民の目線から健全な川づくりを目指し、提言を続けていきたいと思えます。

以上

以下、事業報告とします。

(※1) 本会の遠藤隆一元会員らが2002年8月、会員である奥田建設(株)と協議の上、仙台市青葉区愛子山岸の蕃山(奥田建設所有地)を一体の自然保護を目的に「蕃山ビオトープ構想事業」を提案。ホタル再生や他昆虫、植物、鳥など生息環境を保全していくことを協議の上、地域住民、学校、行政の協働の取組みとすることに合意しました。その後、現地約1万坪中、220mの水路を中心に基本整備を進めながら、計画実施に着手しました。

1. 例会

月 日		場 所
5/22	第8回通常総会	太白区中央市民センター地下展示ホール
6/24	今後の予定打ち合わせ	広瀬川の清流を守る会事務所(昭和宅建)
7/22	活動報告・川狩り打合せ	広瀬川の清流を守る会事務所(昭和宅建)
8/26	活動報告・今後の予定	広瀬川の清流を守る会事務所(昭和宅建)
9/30	活動報告・今後の予定	広瀬川の清流を守る会事務所(昭和宅建)
10/28	活動報告・今後の予定	広瀬川の清流を守る会事務所(昭和宅建)
11/27	活動報告・今後の予定	広瀬川の清流を守る会事務所(昭和宅建)
09/1/10	「新年会」(広瀬川初歩き終了後)	五十集屋
2/24	活動報告 次期事業計画案他	広瀬川の清流を守る会事務所(昭和宅建)
3/24	活動報告 ・ 総会開催の件	広瀬川の清流を守る会事務所(昭和宅建)

2. 河川清掃

月 日	清掃場所		参加者
4/12	郡山堰～広瀬橋 河川敷	会員・一般市民 (終了後に花見会)	参加者 34名
4/29	第3回「旧笹川掃除し隊」	会員・富沢・大野田東・長町南各町 内会・大野田小教員・生徒・父兄、 国交省・宮城県	参加者 60名
5/10	郡山堰～広瀬橋 河川敷	会員・一般市民	参加者 34名
6/14	郡山堰～広瀬橋 河川敷	会員・一般市民	参加者 32名
7/12	郡山堰～広瀬橋 河川敷	会員・一般市民 10年験研修6名参加	参加者 51名
8/9	郡山堰～広瀬橋 河川敷	会員・一般市民	参加者 28名
9/13	郡山堰～広瀬橋 河川敷	会員・一般市民	参加者 43名
10/11	郡山堰～広瀬橋 河川敷	会員・一般市民(終了後に芋煮会)	参加者 51名
11/8	郡山堰～広瀬橋 河川敷	会員・一般市民	参加者 30名
12/13	郡山堰～広瀬橋 河川敷	会員・一般市民(終了後に焼き芋)	参加者 80名
09/3/14	郡山堰～広瀬橋 河川敷	会員・一般市民	参加者 16名



3. ホタル事業



「蕃山ホタル観察会」と

「大野田ホタル観察会」



4. イベント

7/13	「伊達文化創生フォーラムアユ釣り体験」	広瀬川大橋	文化創生フォーラム会員他
8/23	第9回「政宗さんの川狩り」—アユつかみりと塩焼きで食べる美味しい体験—	広瀬川八本松	(増水の為中止)
09/1/10	「広瀬川初歩き」—広瀬橋～愛宕橋～瑞鳳殿～霊屋橋～米ヶ袋	広瀬橋上流域	終了後「新年会」

5. 環境学習(出前講座)

5/13	大野田小学校3年生	出前講座「ホタルの話①」	174名
5/23	広瀬小学校3年生	出前講座「ホタルの里」見学 於：蕃山ホタルの里	240名
6/20	東北学院大学生	ヒアリング「NPO活動など」	2名
6/23	大野田小学校3年生	同上 旧笹川カワニナ放流	174名
7/3	付属中学校1年生	出前講座「人との係わり」	40名
9/22	大野田小学校3年生	出前講座「ホタルの話②」	174名
9/25	広瀬小学校3年生	出前講座「蕃山の自然今までの取組」 於：廣瀬小	240名
12/4	東北学院大高野先生他	ヒアリング「郡山堀の現在」	4名
7/12	宮城県教育研修センター	宮城県教員10年職社会体験研修(第5回)	教員6名
9/21	太白区中央市民センター	出前講師 笹川ウォーキングと「水生生物観察会」	20名
10/18	太白区中央市民センター	出前講師 「広瀬川と政宗」	25名
10/26	太白区中央市民センター	出前講師 広瀬川郡山堰 鮭の遡上観察と芋煮会	20名
11/9	仙台ロータリークラブ	出前講演「清掃活動について」牛越橋地域清掃&芋煮会	40名
11/27	県損保代理業協会	「広瀬川とまちづくり」講話、川問題と活動紹介	30名
21/3/5	県大河原合同事務所	出前講師「スマイルサポーター活動事例報告」	20名

6. 広瀬川何でも相談室

広瀬川に関する市民の様々な質問や意見に対し、速やかに答える一元的窓口です。河川に関する窓口は国、県、市で多岐にわたり、相談者がどこへ持ち込んで良いかわからない状況でした。そこで市民の質問や相談などを電話、ファックス、メールを通して本会がスムーズな回答に心がけ、正確に速やかに答えることを目的に開設しています。

内容は小学校の環境学習（14件）から大学の卒論資料（6件）、ゴミ不法投棄等環境汚染（9件）、筑川の魚類斃死（3件）、芋煮会等河川使用に関する質問（6件）、生物質問（1）、芋煮会苦情等（7件）であり、苦情等対策の必要なものは関係行政に伝え解決につなげました。合計46件

7. その他

6/11	会議	東北建設協会	仙台圏域の健全な水循環調査研究会
6/22	会議	仙台市市民活動林 ^せ せ	「シニアライフマッチング交流会」 活動紹介と個別相談
6/25	会議	中野コミセン	蒲生干潟自然再生競技会管理計画検討部会
7/21	会議	仙台市市民活動林 ^せ せ	「ファンド公募とNPO組織強化」セミナー
7/29	会議	市庁舎	「広瀬川創成プラン策定推進協議会」市
9/18	会議	宮城県庁	「広瀬川環境管理協議会」県土木 河川整備
11/18	会議	宮城県庁	第2回「広瀬川環境管理協議会」県土木
11/27	会議	市庁舎	「広瀬川創成プラン策定推進協
21/2/10	会議	市庁舎	「広瀬川創成プラン策定推進協議会」市
2/26	会議	県自治会館	第5回「広瀬川仮設魚道実行委員会」県土木
3/5	会議	南大野田集会場	第10回「筑川環境整備懇談会」国交省

平成20年度 収支決算書

収入総額 1,116,326円
 支出総額 342,774円
 次期繰越金 773,552円

自 平成20年 4月 1日
 至 平成21年 3月31日

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
I 収入の部				
1.会費収入	300,000	290,000	△ 10,000	法人@10,000×12 @5,000×34
2.事業収入	50,000	0	△ 50,000	
自主企画事業	50,000	0	△ 50,000	政宗さんの川狩り 中止のため
3.雑収入	20,000	60,838	40,838	
広瀬川灯ろう流し	20,000	30,000	10,000	HPメンテ料
太白区市民センター		17,000	17,000	太白自然塾
謝 金		10,000	10,000	損保代理業協会
そ の 他		3,838	3,838	預金利息・10年経研修資料代
当期収入合計 (A)	370,000	350,838	△ 19,162	
前期繰越収支差額	765,488	765,488	0	
収入合計 (B)	1,135,488	1,116,326	△ 19,162	
II 支出の部				
1.事業費	360,000	155,947	204,053	
自主企画事業				
ホ タ ル	80,000	32,617	47,383	備品、ホタル観察会、交通費他
河 川 清 掃	100,000	102,532	△ 2,532	花見・芋煮会・焼芋、飲食代他
イ ベ ン ト	160,000	13,798	146,202	川狩り印刷代、初歩き(新年会)
環 境 学 習	20,000	7,000	13,000	講師日当、交通費
2. 会議費	80,000	14,202	65,798	
総 会 費	50,000	12,422	37,578	資料代、会場費、飲食代
会 議 費	30,000	1,780	28,220	茶菓代
3.一般管理費	270,000	172,625	97,375	
旅 費 交 通 費	30,000	6,500	23,500	日当、交通費他
通 信 費	120,000	75,007	44,993	サーバー使用料、HP、切手、電話料
事 務 費 用 品 費	10,000	7,303	2,697	
管 理 諸 費	20,000	8,000	12,000	「河川」購読料他
事 務 委 託 料	60,000	60,000	0	@5,000×12ヶ月
雑 費	30,000	15,815	14,185	他団体会費、参加費、送金料他
4.予 備 費	505,488	0	505,488	
当期支出合計 (C)	1,135,488	342,774	792,714	
当期支出差額 (A-C)	△ 765,488	8,064	△ 773,552	
次期繰越収支差額 (B-C)	0	773,552	△ 773,552	

<第2号議案>

平成21年度事業計画(案)

自：平成21年 4月 1日

至：平成22年 3月31日

本会が平成11年5月に任意団体として設立し、平成13年4月法人化を経て本年10周年を迎えました。その節目に当たり、活動の振り返りとともにNPO法人の更なる組織の充実を図り、新たな体制による活動を展開していきたいと思ひます。

本年度は昨年の活動に引き続き、定款に定める広瀬川と支派川の環境の向上を目的とし、環境教育ならびに生涯学習、まちづくりに資する協働を通して、次代につなぐ一連の事業を計画します。重点事業としては、広瀬川を主に、河川環境に関する河川政策の提言と活動を通じた川づくりを目指します。また、新たに本会活動を担う将来の人材発掘と登用を進めたいと思ひます。

活動においては、広瀬川に関する課題について、共に学び、考え、語り合うことを大切にします。その上で治水、利水、環境のバランスを計りながら、より良い川づくりを活動の柱とし、事業推進には市民行政協働をもとに責任分担、市民参加、情報公開による実践と提言を行います。更に関係行政、関係団体、市民との社会的コミュニティの輪を広げながら活動を進めていきたいと考えています。

+

本年も関係行政はじめ関係諸団体との連携をもとに、会員各位の協力による以下の事業を推進します。

<事業>

1. 河川清掃

(1) 毎月第二土曜日午前10時～12時 広瀬川広瀬橋地区(郡山堰～JR鉄橋)

宮城県のラブリバープログラム覚書による清掃事業。流域の広範にわたるゴミ不法投棄、市民のポイ捨てなどの清掃と啓発を目的に毎月第二土曜日実施します。また清掃しながら、川観察とともに語り合う場とします。清掃後に4月花見会、10月芋煮会、12月焼芋会を開催。

(2) 4月18日(土) 午前9時～12時 広瀬川八幡地区(奥田建設株式会社共催)

恒例となった清掃活動と花見会。広瀬川八幡地区、牛越橋地区、芋沢川支流綱木地区(権現森)、国道48号線八幡地区などを実施。

(3) 4月29日(水) 午前10時～12時 旧笹川(笹川取水地～仙台館腰間、約1km)

「大野田ホタルの里づくり」推進協議会(大野田小学校、富沢町内会、地藏堂町内会、国交省仙台河川国道事務所、宮城県仙台土木事務所、仙台市太白区、支援広瀬川の清流を守る会)

なお、参加した企業の要請により、地域貢献証明を発行しています。

2. ホタル事業

環境学習、水文化の創生、生物を育む健全な水循環と地域コミュニティの創出を図り、旧笹川「大野田ホタルの里」、「蕃山ホタルの里づくり」を6月から7月に観察会を開催します。また、要請により、ホタルの成虫を期間中に貸出します。(長町病院他)

3. イベント 第9回「政宗さんの川狩り」(09年8月22日)

仙台の藩祖、伊達政宗公が川で漁をする「川狩り」を大変好んだことに由来し、2000年仙台開府四百年記念として始めた広瀬川イベントです。広瀬川に來たことがない市民の広瀬川体験を創出し、川で自らアユをつかみ、塩焼きにして食べることで広瀬川を知り、川を大切にする心を涵養します。

前年度、広瀬川八本松河川敷を対象としたいこいの空間整備が完成したことから、今年は市民参加の最初の利活用を図るべく、水辺のユニバーサルデザインを活かした会場を使用し、車椅子でも参加できるイベントとしてより多くの市民に参加していただきたいと考えております。

4. 環境学習（通年）

小中高の要請により、環境学習をテーマとした講演を学力に応じ、教室を利用した屋内学習や河川を利用した野外学習を行います。

5. 広瀬川なんでも相談室（通年）

河川の管理は国、県、市に分かれ、市民は川に関する質問、意見をどこに持ち込んだらよいか分からず、たらい回しになる懸念がありました。そこで、川に関する市民の質問、意見、相談を、一元的に受け付け、関係行政と連携の上、それらの質問等に答える窓口を設置しています。継続して、電話、ファックス、メールで随時受け付け、河川行政と政策提言につなげます。

6. 情報発信（通年）

ホームページで活動の紹介、参加募集を行います。活動予定、報告について、広瀬川通信を毎月発行し、会員にはファックス、メールで送信するほかHPに掲載します。

7. 河川政策提言（広瀬川）

（1）名取川水系河川整備計画（治水・利水・環境）

多自然川づくり（治水と環境の一体整備）

アユを指標とする健全な川づくり

（2）流水の機能保全について

河川の適正な利用（河川法）

流水の正常な機能の維持（河川法）

関係機関の利水調整（国交省、宮城県、仙台市ほか）

（3）合流式下水道の改善

仙台市内の旧市街地内における広瀬川排水・年間1,265千トン（h10年）の問題

市内21ヵ所の吐き口から法定水質基準を超える問題（調査未定）と改善

① 合流式下水道改善の方針（国）による改善目標の明示

② 汚濁負荷量の削減

③ 公衆衛生上の安全確保

④ 夾雑物の対策（吐き口ごとの流出抑制）

（4）郡山堀の利水と環境保全

慣行水利権から河川法による取水

年間通水（環境用水）

平成21年度事業予定表

事業名	事業内容 (参加費)	日時	場所
例会	開催案内はHP及び通信 活動計画協議・事務打ち合わせ	毎月第4火曜日 19:00～	事務所
河川清掃 (定期)	一般市民、企業参加の清掃を実施。ボランティア体験から環境保全啓発。(参加費なし) 4/11 花見会 10/10 芋煮会 12/12 焼き芋	3～12月 第2土曜	郡山堰～ 広瀬橋周辺
河川清掃 (上記外)	広瀬川及び八幡地区清掃 清掃終了後に花見会(参加費なし)	4/18(土)	八幡地区 広瀬川・支流
	「大野田ホタルの里づくり」旧笹川清掃 地域住民、小学校協働による清掃	4/29(水)	旧笹川 (大野田地区)
ホタル事業	「ホタルの里づくり支援事業」 ホタル再生に向けた取り組み	通年	大野田小
	第6回「大野田ホタル観察会」(参加費なし) (大野田ホタルの里づくり)	7/4(土)	旧笹川 (大野田地区)
	第7回「蕃山ホタル観察会」(参加費なし) (蕃山ホタルの里づくり)	6/27(土)	下愛子山岸 奥田建設敷地
	ホタルのお見舞い(長町病院)	(未定)	左記病院内
川イベント	「伊達文化創生フォーラムアユ釣り体験」	7/19(日)	広瀬川大橋
	第9回「政宗さんの川釣り」 アユのつかみ取りと塩焼きで食べる川体験 (参加費/大人500円 ども300円)	8/22(土)	広瀬川八本松
初歩き	第8回「広瀬川初歩き」(参加費なし) 広瀬川河畔を歩き、自然と歴史に触れる	10/1/9(土)	広瀬川
出前講座 研修(講師)	小中高等学校、企業、団体、行政 (依頼により実施)	通年	市内外
広瀬川何でも 相談室	広瀬川に関する一元的窓口 質問、意見、相談についてワンストップ解答行政窓口紹介(行政連携)・(他の情報連携)	通年 (随時)	
情報発信	「広瀬川通信」(fax e-mail) インターネットHP(情報更新・参加・協力)	毎月	
調査研究 (提言)	ゴミの不法投棄、ポイ捨て対策の調査研究 広瀬川のユニバーサルデザイン調査研究 地方分権と協働に関する調査研究	通年	広瀬川

※) 計画は天候や諸事情により変更する場合があります。hp広瀬川通信・掲示板で確認ください。

平成21年度 収支予算(案)

収入総額 1,153,552円
 支出総額 1,153,552円

自平成21年 4月 1日
 至平成22年 3月31日

科 目	前期予算額	予 算 額	差 異	摘 要
I 収入の部				
1.会費収入	300,000	300,000	0	法人@10,000×12 @5,000×36
2.事業収入	50,000	50,000	0	
自主企画事業	50,000	50,000	0	川狩り会費
3.雑収入	20,000	30,000	10,000	
広瀬川灯ろう流し	20,000	30,000	10,000	
当期収入合計(A)	370,000	380,000	10,000	
前期繰越収支差額	765,488	773,552	8,064	
収入合計(B)	1,135,488	1,153,552	18,064	
II 支出の部				
1.事業費	360,000	400,000	40,000	
自主企画事業				
ホ タ ル	80,000	80,000	0	備品、ホタル観察会、交通費他
河 川 清 掃	100,000	130,000	30,000	花見・芋煮会・焼芋、飲食代他
イ ベ ン ト	160,000	160,000	0	アユ、飲物、チラシ、切手、弁当代他
環 境 学 習	20,000	30,000	10,000	講師日当、交通費
			0	
2. 会議費	80,000	80,000	0	
総 会 費	50,000	50,000	0	資料代、会場費、飲食代
会 議 費	30,000	30,000	0	茶菓代他
3.一般管理費	270,000	290,000	20,000	
旅 費 交 通 費	30,000	30,000	0	日当、交通費他
通 信 費	120,000	80,000	△ 40,000	サーバー使用料、HP、切手、電話料
事 務 費 用 品 費	10,000	10,000	0	
管 理 諸 費	20,000	20,000	0	「河川」購読料他
事 務 委 託 料	60,000	120,000	60,000	@10,000×12ヶ月
雑 費	30,000	30,000	0	他団体会費、参加費、送金料他
4.予 備 費	505,488	463,552	△ 41,936	
当期支出合計(C)	1,135,488	1,153,552	18,064	
当期支出差額(A-C)	△ 765,488	△ 773,552	△ 8,064	
次期繰越収支差額(B-C)	0	0	0	